



大野農園

くだものを通してヒトとヒトを繋ぐ農園

大野農園株式会社
代表取締役 大野栄峰

りんごモナカ

I.「大野農園」事業のご紹介

会社概要

創業年 / 1975年 設立年 / 2012年

資本金 / 1990万円

事業内容 / ・果実生産事業・食品加工事業
・カフェ運営事業・体験事業
・キッチンカー事業



スタッフ概要

従業員数 23名(正社員/10名・パート/13名)

年代別 20代/7名 30代/3名 40代/5名

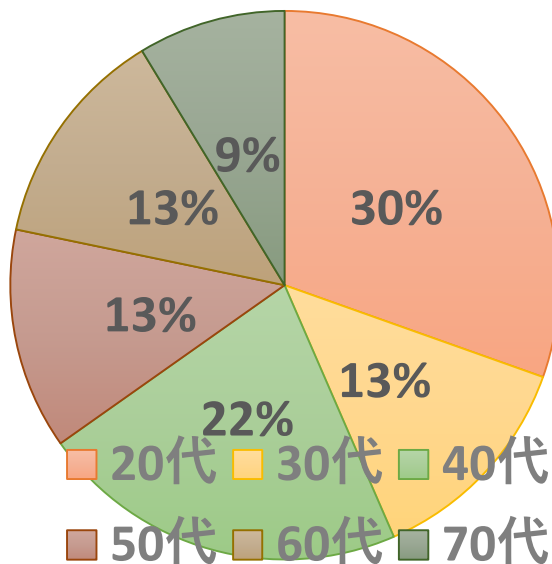
50代/3名 60代/3名 70代2名

男女比 男性11名 女性12名

県内 Uターン4名 地元9名

県外 Iターン8名

農業従事者の49歳以下
全国平均→11%
大野農園→65%



I.「大野農園」事業のご紹介

1975/大野農園創業、りんご栽培開始

1983/ もも栽培開始

1990/ なし栽培開始

2012.5月/大野農園株式会社設立

2012.8月/加工事業開始

2013.4月/農園体験事業開始

2013.11月/移動販売『ORAGEーノ』開始

2015.3月/一般社団法人COOL AGRI設立

2015.12月/D47MUSEUM福島代表選出

2016.5月/G7伊勢志摩サミット贈呈品「りんごジュース」選品

2016.11月/「KAIKA Awards2016特別賞」受賞

2017.4月/TRAIN SUITE 四季島「りんご、なし、ももジュース」選品

2017年.7月/農園体験パーク開園

2017年.11月/菓子工場新設

2018年.2月/ORAGENOSHOPグランドオープン

2019年8月/マイナビ農業アワード2019優秀賞受賞

2020年11月/新東北みやげコンテストデザイン特別賞受賞

2020年12月/第6回ふくしま産業賞特別賞受賞

2021年2月/GLOBALG.A.P.認証

2024年3月/ふくしま満天堂グランプリデザイン特別賞受賞

2024年6月/JR東日本新幹線グランクラスDEAN&DELUCA監修メニュー採用₃

I.「大野農園」事業のご紹介

④ 大野農園



★元祖は造り酒屋

1875

1975

2011

2012

2014

2018

2024

★国内3番目のおい化栽培導入 ★法人化 家族3名+パート3名

★りんご⇒もも⇒なし ★JA ⇒ 直売

★原発事故の風評被害 ★風評被害のキッチンカー開始

★Uターン新規就農 ★メディアから注目

★農地体験イベント事業化

★食品加工事業開始

★多角化農業経営確立

★加工場+CAFÉ新設

I.「大野農園」事業のご紹介





I.「大野農園」事業のご紹介



面積	もも	なし	りんご	合計
2012	60a	80a	360a	500a
2024	280a	120a	600a	1000a
2026	340a	150a	660a	1150a

収量結果・予測

品目	2023 収量	2024 収量	2024 伸び率
りんご	119t	151t	127%
もも	29t	48t	165%
なし	26t	38t	146%
合計	174t	237t	146%

I.「大野農園」事業のご紹介



I. 「大野農園」商品ご紹介



TRAIN SUITE 四季島 選品

JR 東日本が運行するクルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」でご提供する商品に選ばれました
自家栽培されたこだわりの果実を凝縮し、素材の美味しさ感じる 100%ジュースです



大野農園
FRUIT
JUICE



伊勢志摩サミット 贈呈品

大野農園で栽培されたブランドりんごで絞った 100%ジュース
伊勢志摩サミットにおけるおもてなし贈呈品として、各国の首脳へ贈呈されました商品です



大野農園
FRUIT
JUICE



I.「大野農園」商品ご紹介

④大野農園 りんごモナカ



明石家さんまの
フジテレビ「ホンマでっか!?TV」



芸能界の“スイーツ女王”とも呼ばれる
ぼる塾の田辺さんがスイーツ対決で
「りんごモナカ」を激推し!

雑誌「Hanako」でも
2022年
推しスイーツベスト12
にピックアップ!



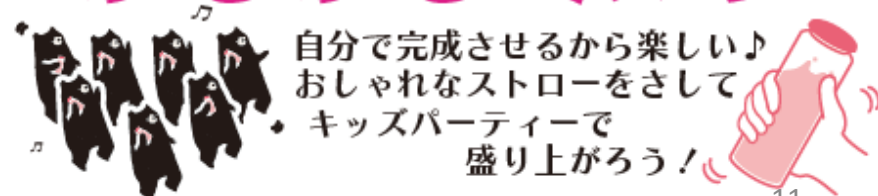
TBS

放送されました!



④大野農園

ふるふるミルク



自分で完成させるから楽しい♪
おしゃれなストローをさして
・キッズパーティーで
盛り上がりよう!

◎大野農園



◎大野農園



◎大野農園



◎大野農園



大野農園



I.「大野農園」商品ご紹介



I.「大野農園」商品ご紹介



新商品

【期間限定】

6月15日～10月31日



夏季限定。夏の涼を旬の果実で感じる、果樹園の桃ゼリー
瑞々しく、透き通ったぷるぷる食感のゼリーの中に
果肉の歯応えをしっかりと感じられるよう
角切り桃をゴロっと贅沢に入れました
美味しさをそのまま、桃をまるごと食べているような
果樹園ならではの商品
常温で保存可能ですが、冷蔵庫で冷やしていただくと
より一層美味しくお召し上がりいただけます

大野農園



I.「大野農園」事業のご紹介

P

PURCHASE

福を“買う”

ジャムやお酒、ジュースなど、
様々な美味しい果実商品を
販売します。

A

ACTIONS

福を“届ける”

最高の美味いお肉・お魚と旬の野菜を、
移動式のピザ窯を通して
皆様へ福をお届けする。

I

IDEA OF PIZZA

福を“食べる”

確かな美味しい
こだわり素材・野菜を使った
スイーツ&ベジタブルピザ。

Z Z

大野農園

www.oonoonuen.com

サッポロ「Oonoenuen」はどどこでもお店にいたします。産地直送・イベント限定なども実施！
「ただでさえもろろん作り出す。世帯のご希望の方は大野農園までお問い合わせください。」

tel:0247-57-6004

[illegible]

I.「大野農園」事業のご紹介

商品魅力創造

新視点活用度

生産ロケーションの魅力

製品の特別感

情報発信の明確さ

プロモーション

フォトジェニック

メディア露出の継続性

メッセージの一貫性

地域と製品を結びつける
ストーリーの内部共有

総合デザイン

ブランド保護力

推進主体の組織力

強固なブランド形成



SCENE DESIGN

美味しさだけではなく、利用シーン
から設計したモノづくり

くだものを通してヒトとヒトを繋げる、
食の新たな価値を創出

II. コラボ事例

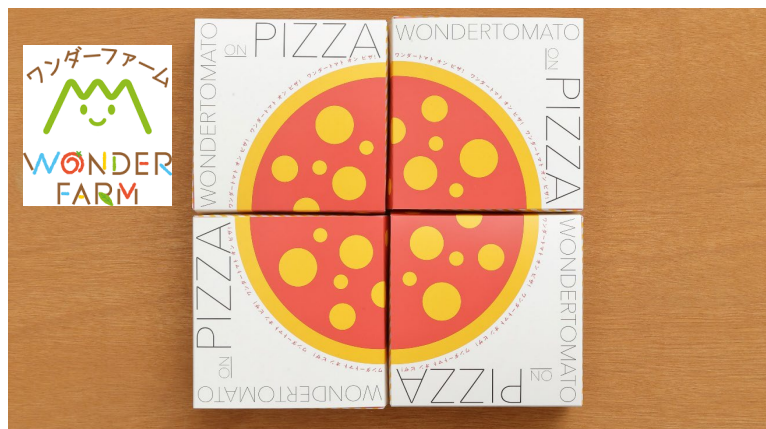


岩瀬牧場 × 大野農園

岩瀬牧場の生乳100%ヨーグルトと
大野農園のジャムが出会いました。
シュガーとプレーンからお好みで。



Ⅱ.コラボ事例



II. コラボ事例



Apple Jam

「まいにち、フルーツのある生活を」

An apple a day keeps the doctor away.
(1日1個のりんごは医者をいらす)

SAISONの焼肉屋敷、阿波市津島で営むりんごは、「おききいね」が特設、りんごの枝かきなどを行い、奥の山からの甘みや香りを送ってきたりんごのすべてが贈ったタムを作りました。

そのままでも、料理とあわせても。
日々の生活の中で、手軽に美味しく取り入れられる
オリタナルのりんごジャムです。



シキゾン・清・ボム
1,700yen+tax



りんごのシュークリーム
700yen + tax



英國パフェーウんごー
1,200yen+tax

フランスのヴィエブズリー（菓子パン）、ショ
ン・オ・ポムをアレンジしたアシェットデザート、ブ
レーン、シマモン、「THE O DOOR（オードール）」のメ
ランジェ、ドゥ・シャルダン、ド・マモンの3種類か
らお選びいただけます。

ものりんごをふんわり包み込んださっぱりとした味のいいパイ。甘いりんごのコンポートにりんごのシャーベット、酸味のあるフレッシュなりんごを、相性が良いイチゴと一番人気マスカットブルーとをともに。

II. コラボ事例



British Hills



HAPPO-EN
TOKYO

TEAtrico.

いわきユナイト



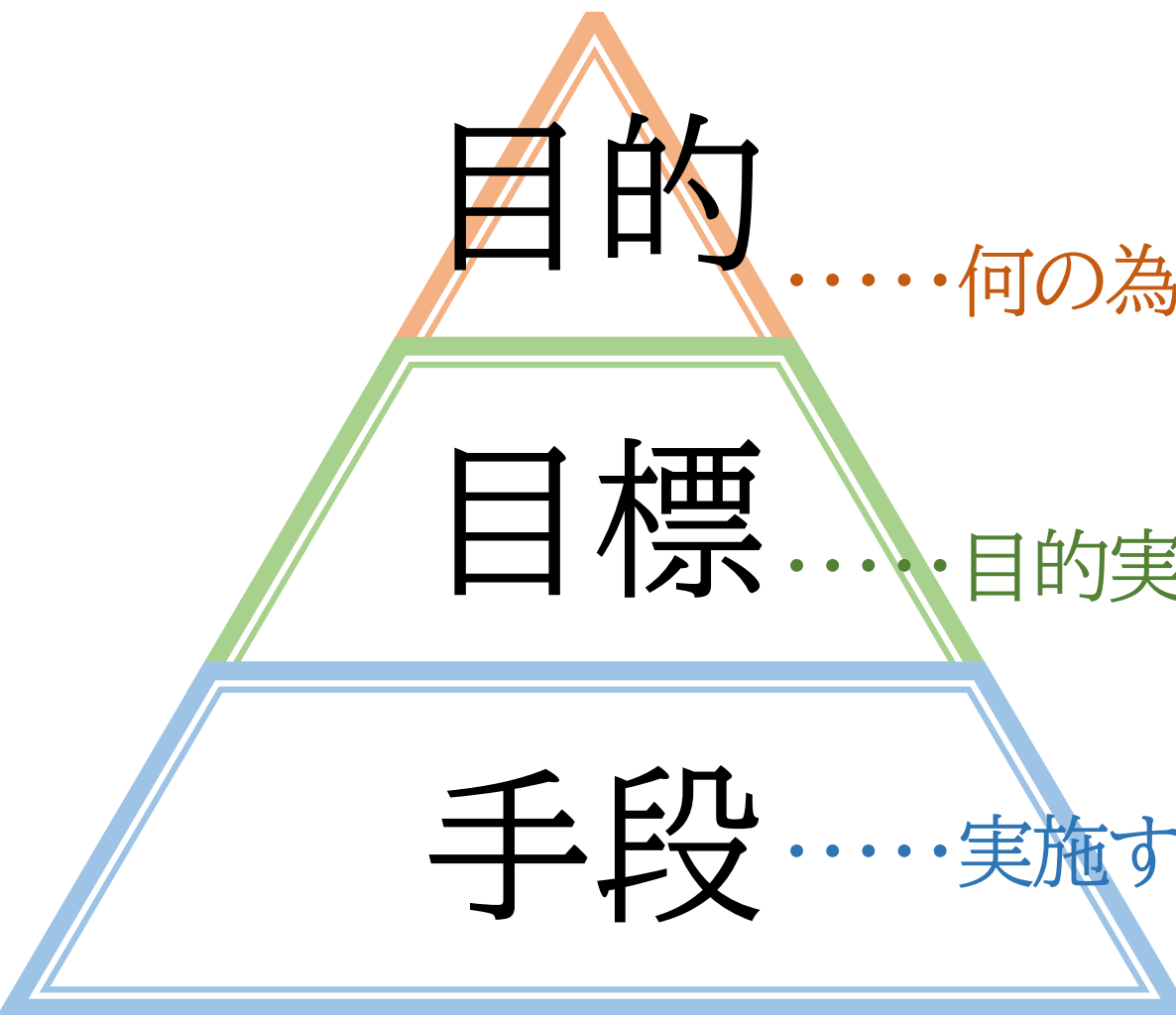
DEAN & DELUCA

Ⅲ.商品開発について

商品開発

とは

主旨を整理



目的

……何の為に取り組むか、効果

目標

……目的実現の為の到達点、通過点

手段

……実施する内容、選択した方法

何の為、誰の為(目的・効果)

自分

社員

取引先

地域

世の中

メリット

なんの為

誰の為

どう変えたい

意義

3つのポイント

差別化

自社の特徴、他には無い、
自分ならではの

需要

誰に、どれくらい
求められているか

継続

環境、人、価格、モノ等
変化に対応し継続できるか

数字で読み解く 農業・果樹の将来

「農業の深刻な課題」

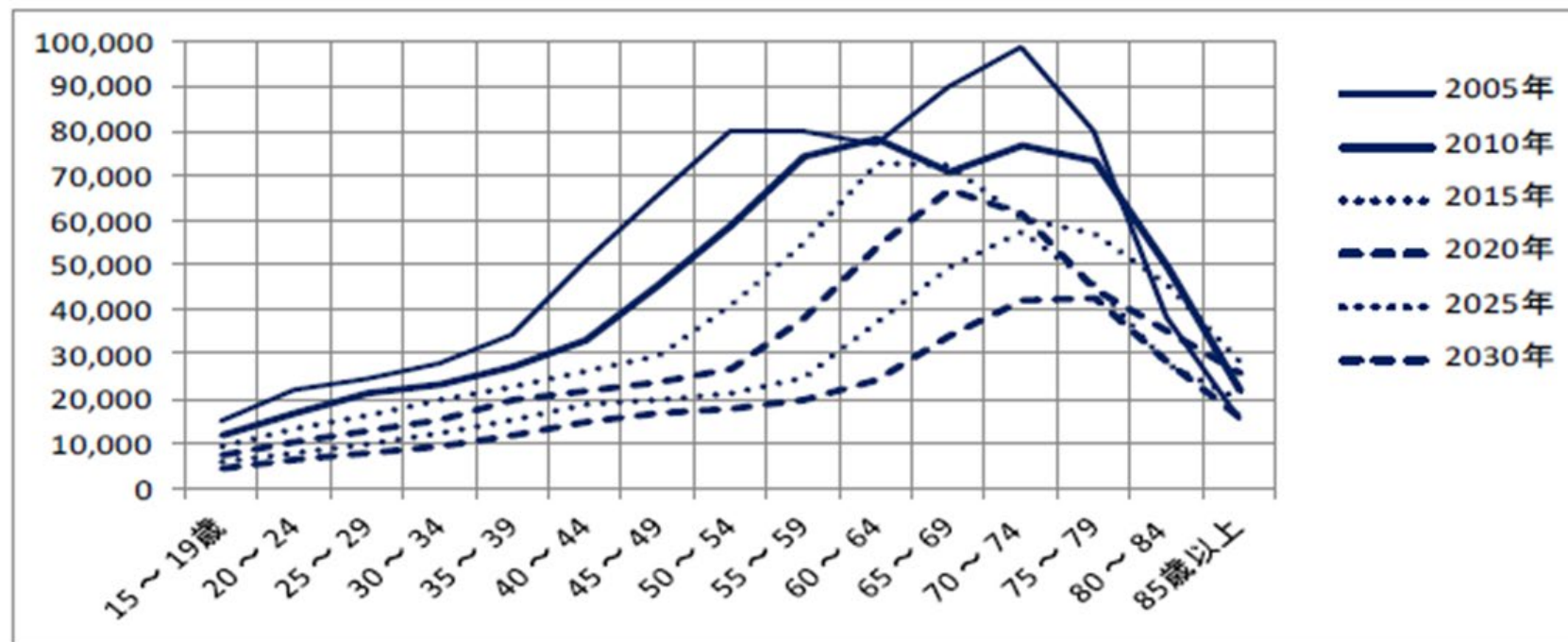
- 耕作放棄地増加・・・全国1位
- 農業者の高齢化・・・全国1位
- 農業人口減少
- 風評被害
- 温暖化や気候変動による被害拡大



年齢層別の農業従事者予測

2025年現在は65～74歳層がもっとも多い

2030年には70～79歳層がメインになる



農業者数推移

西暦	農業従事者		農業経営体	
	農業全体	果樹	農業全体	果樹
2010年	205万人	24万人	167万軒	20万軒
2015年	175万人	21万人	137万軒	16万軒
2020年	136万人	18万人	107万軒	14万軒
2025年	101万人	16万人	77万軒	12万軒
2030年	66万人	13万人	47万軒	9万軒

A person is shown from the chest up, wearing a white shirt and a straw hat. They are holding their hands up in front of their face, wearing green knitted gloves. Each glove features a red apple logo with the text "COTONQUE" above it and "SINCE 1973" below it. The background is a blurred green field.

果物が無くても生きていけるかもしれない
ただ、果物があることで幸福感は与えられる